

産業廃棄物処理計画実施状況報告書

令和6年 5月 10日

茨城県知事 大井川 和彦 殿

提出者

住 所 茨城県古河市丘里7
 氏 名 ヤマザキビスケット株式会社
 古河事業所
 執行役員古河事業所長 塚田倫行
 電話番号 0280-98-2111

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、令和5年度の産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。

事業場の名称	ヤマザキビスケット株式会社 古河事業所
事業場の所在地	茨城県古河市丘里7
事業の種類	09 食料品製造業
産業廃棄物処理計画における計画期間	令和5年4月1日～令和6年3月31日

産業廃棄物処理計画における目標値

項目	目標値	項目	目標値
排出量	10,592t	全処理委託量	3,396t
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0t	優良認定処理業者への処理委託量	749t
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	7t	再生利用業者への処理委託量	3,391t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	7,196t	認定熱回収業者への処理委託量	0t
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0t	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0t
※事務処理欄			

(日本工業規格 A列4番)



(産業廃棄物の種類：汚泥(有機性))

計画の実施状況	
---------	--

有償物量

不要物等発生量

排出量

排出量

項目	実績値
① 排出量	6,467 t
②+⑧自ら再生利用を行った量	0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0 t
⑦自ら中間処理により減じた量	5,497 t
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0 t
⑪全処理委託量	970 t
⑯優良認定処理業者への処理委託量	426 t
⑰再生利用業者への処理委託量	970 t
⑲熱回収認定業者への処理委託量	0 t
⑳熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t
㉑のうち優良認定業者への処理委託量	426 t

自ら再生直利用した量

自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量

自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量

⑩のうち再生利用業者への処理委託量

⑪のうち熱回収認定業者への処理委託量

㉑のうち熱回収認定業者以外の業者への処理委託量

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類：動植物性残渣)

有 儲 物 量	
不要物等発生量	

不 要 物 等 発 生 量	
自ら再生利用した量 ② 0 t	

排 出 量	
自ら再生利用した量 ① 1,750 t	

項目	実績値
① 排出量	1,750 t
②+⑧自ら再生利用を行った量	0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0 t
⑦自ら中間処理により減じた量	0 t
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0 t
⑪全処理委託量	1,750 t
⑫優良認定処理業者への処理委託量	209 t
⑬再生利用業者への処理委託量	1,750 t
⑭熱回収認定業者への処理委託量	0 t
⑮熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t
⑯のうち優良認定業者への処理委託量	209 t

自ら再生利用した量	
自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量 ③ 0 t	

自ら中間処理した量	
自ら中間処理した量 ④ 0 t	

自ら中間処理した量	
自ら中間処理した量 ⑥ 0 t	

自ら中間処理した量	
自ら中間処理した量 ⑦ 0 t	

自ら中間処理した量	
自ら中間処理した量 ⑪ 1,750 t	

自ら中間処理した量	
自ら中間処理した量 ⑫ 0 t	

自ら再生利用した量	
自ら再生利用した量 ⑧ 0 t	

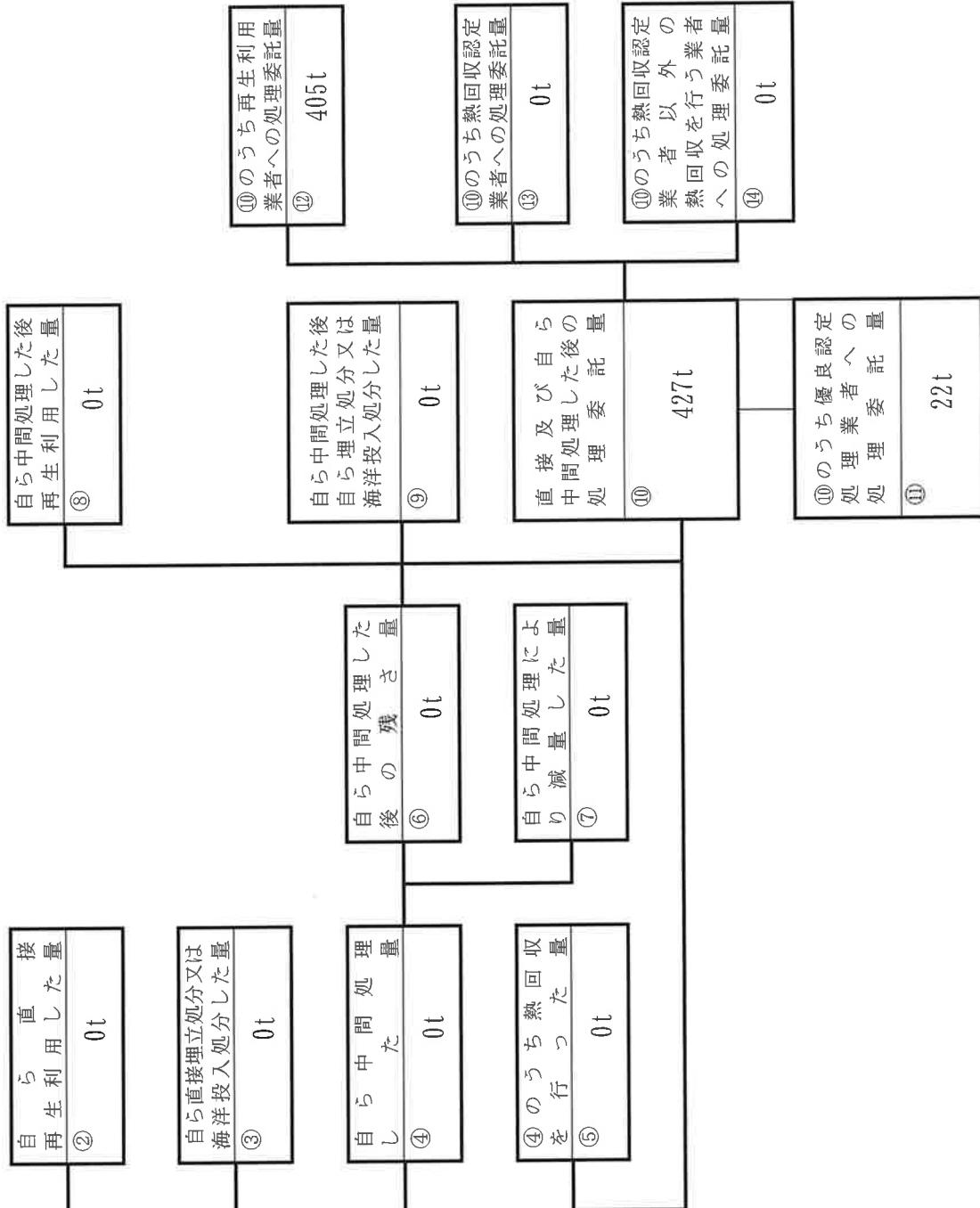
自ら再生利用した量	
自ら再生利用した量 ⑫ 1,750 t	

（第2面）

(産業廃棄物) 廃プラスチック類(ケルム等)

計画の実施状況

計画の実施状況	
有 債 物 量	
不 要 物 等 発 生 量	
排 出 量	
①	427 t
項目	実績値
① 排出量	427 t
②+③自ら再生利用を行った量	0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0 t
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入、処分を行った量	0 t
⑩全処理委託量	427 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	22 t
⑫再生利用業者への処理委託量	405 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t



計画の実施状況

(産業廃棄物の種類：汚泥(無機性)

(第2面)

項目	実績値
① 排出量	736t
②+③自ら再生利用を行った量	0t
⑤自ら熱回収を行った量	0t
⑦自ら中間処理により減量した量	603t
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入を行った量	0t
⑪全処理委託量	133t
⑫優良認定処理業者への処理委託量	58t
⑬再生利用業者への処理委託量	133t
⑭熱回収認定業者への処理委託量	0t
⑮熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0t

項目	実績値
① 有償物質量	736t
② 自ら再生利用した量	0t

項目	実績値
① 不要物等発生量	
②+③自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量	0t
④+⑤自ら中間処理した量	736t
⑥+⑦自ら中間処理残さず量	133t
⑧+⑨自ら中間処理による減量した量	603t
⑩+⑪自ら中間処理した後、自ら埋立処分又は海洋投入処分した量	133t
⑫+⑬自ら中間処理した後、自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量	0t
⑭+⑮自ら中間処理した後、業者へ熱回収を行った量	133t
⑯+⑰自ら中間処理した後、業者へ熱回収を行わなかった量	0t
⑱+⑲自ら中間処理した後、業者へ熱回収を行わなかった量	58t

項目	実績値
① 排出量	736t
②+③自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量	0t
④+⑤自ら中間処理した量	736t
⑥+⑦自ら中間処理残さず量	133t
⑧+⑨自ら中間処理による減量した量	603t
⑩+⑪自ら中間処理した後、自ら埋立処分又は海洋投入処分した量	133t
⑫+⑬自ら中間処理した後、自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量	0t
⑭+⑮自ら中間処理した後、業者へ熱回収を行った量	133t
⑯+⑰自ら中間処理した後、業者へ熱回収を行わなかった量	0t
⑱+⑲自ら中間処理した後、業者へ熱回収を行わなかった量	58t

項目	実績値
① 有償物質量	
②+③自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量	0t

④+⑤自ら中間処理した量	736t
⑥+⑦自ら中間処理残さず量	133t
⑧+⑨自ら中間処理による減量した量	603t
⑩+⑪自ら中間処理した後、自ら埋立処分又は海洋投入処分した量	133t
⑫+⑬自ら中間処理した後、自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量	0t
⑭+⑮自ら中間処理した後、業者へ熱回収を行った量	133t
⑯+⑰自ら中間処理した後、業者へ熱回収を行わなかった量	0t
⑱+⑲自ら中間処理した後、業者へ熱回収を行わなかった量	58t

⑪のうち再生利用業者への処理委託量	133t
⑫のうち熱回収認定業者への処理委託量	0t

⑬のうち熱回収認定業者への処理委託量	0t
⑭のうち熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	133t

⑪のうち優良認定処理業者への処理委託量	58t
⑫のうち再生利用業者への処理委託量	133t

備考

- 1 翌年度の6月30日までに提出すること。
- 2 「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
- 3 「産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。
- 4 第2面には、前年度の産業廃棄物の処理について、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。
 - (1) ①欄 当該事業場において生じた産業廃棄物の量
 - (2) ②欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量
 - (3) ③欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
 - (4) ④欄 (1)の量のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理前の量
 - (5) ⑤欄 (4)の量のうち、熱回収を行った量
 - (6) ⑥欄 自ら中間処理をした後の量
 - (7) ⑦欄 (4)の量から(6)の量を差し引いた量
 - (8) ⑧欄 (6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量
 - (9) ⑨欄 (6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量
 - (10) ⑩欄 中間処理及び最終処分を委託した量
 - (11) ⑪欄 (10)の量のうち、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量
 - (12) ⑫欄 (10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量
 - (13) ⑬欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量
 - (14) ⑭欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量
- 5 第2面の左下の表には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。
- 6 産業廃棄物の種類が2以上あるときは、産業廃棄物の種類ごとに、第2面の例により産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。